

Cisco Start Router

設定マニュアル ユーザーの管理 Cisco 841M J

2016 年 2 月 18 日

第 1.0 版



www.networld.co.jp

株式会社ネットワールド





Cisco Start Router

設定マニュアル ユーザーの管理 Cisco 841M J



改訂履歴

版番号	改訂日	改訂者	改訂内容
1.0	2016 年 2 月 18 日	ネットワーク	● 新規



免責事項

- 本書のご利用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。本書に記載する情報については、株式会社ネットワーク（以下 弊社）が慎重に作成および管理いたしますが、弊社がすべての情報の正確性および完全性を保証するものではありません。
- 弊社は、お客様が本書からご入手された情報により発生したあらゆる損害に関して、一切の責任を負いません。また、本書および本書にリンクが設定されている他の情報元から取得された各種情報のご利用によって生じたあらゆる損害に関しても、一切の責任を負いません。
- 弊社は、本書に記載する内容の全部または一部を、お客様への事前の告知なしに変更または廃止する場合がございます。なお、弊社が本書を更新することをお約束するものではありません。



表記規則

表記	表記の意味
「」(括弧記号)	キー、テキストボックス、ラジオボタンなどのオブジェクト
bold (ボールド文字)	入力または選択するシステム定義値
<i><italic></i> (イタリック文字)	入力または選択するユーザー定義値
□ (囲み線)	入力または選択するオブジェクト
"" (二重引用符記号)	表示されるメッセージ
■ (蛍光マーカー)	確認するメッセージ

表記の例)

(1) 「Exec」ラジオボタンを選択します。

(2) テキストボックスに以下のコマンドを入力します。

copy running-config <file name>

(3) 「コマンドを実行」ボタンをクリックします。正常に実行されれば、画面に「[OK]」が表示されます。

Destination filename [startup-config]?

Building configuration...

[OK]

CLIによる設定

CLI機能はルータのコマンドプロンプトで実行可能な設定や、全てのIOS CLIコマンドを入力できます

1
2
3

☒ Exec
☐ Configure

copy running-config startup-config

コマンドを実行

クリア

Destination filename [startup-config]?
Building configuration...
[OK]



目次

1. はじめに.....	1
1.1 対象製品.....	1
1.2 CCP Express のシステム要件.....	1
1.3 クイックリンク.....	2
2. システム構成.....	3
2.1 使用した機材	3
3. 設定手順	4
3.1 ユーザーの作成.....	4
3.2 ユーザー情報の変更	7
3.3 ユーザーの削除.....	9



1. はじめに

本書は、Cisco Configuration Professional Express（以下 CCP Express）のアドバンスドセットアップを使用して Cisco 841M J シリーズのユーザーを管理する手順を説明した資料です。CCP Express は、Web UI を備えた組み込みのデバイス管理ツールです。CCP Express のアドバンスドセットアップを使用すると、WAN、LAN、およびセキュリティなど、製品の詳細設定を簡単に実行できます。

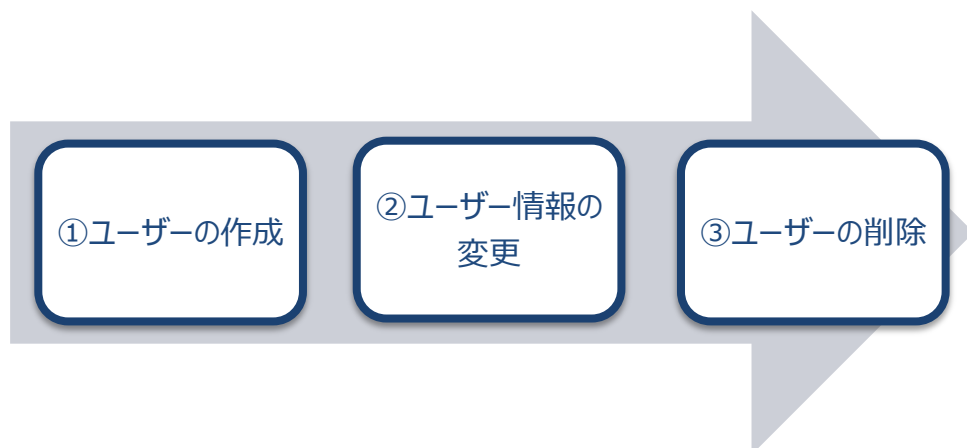


図 1 本書で実行する設定

1.1 対象製品

本書を使用してユーザー管理を実行できる製品は、以下のとおりです。

表 1 本書の対象製品

C841M-4X-JSEC/K9	C841M-4X-JAIS/K9	C841M-8X-JAIS/K9
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

1.2 CCP Express のシステム要件

CCP Express を使用できる Cisco IOS および Web ブラウザーは、次のとおりです。

- Cisco IOS 15.2(4)M2～、または 15.3(1)T～、セキュリティ機能は 15.5(1)T～
- Microsoft Internet Explorer 10
- Google Chrome 17～
- Mozilla Firefox 10～



1.3 クイックリンク

Cisco 841M J シリーズの公式の情報は、以下の URL から入手できます。

- Cisco Start Router ホーム:
<http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/index.html>
- 製品カタログ:
http://www.cisco.com/web/JP/product/catalog/pdf/1082_en_start_catalog.pdf
- データシート:
http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/docs/c800mj_data_sheet_c78-732678.pdf
- サポートコミュニティ:
<https://supportforums.cisco.com/ja/start>
- よくある質問:
<http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/c800m-faq.html>
- サポート窓口:
<http://www.cisco.com/web/JP/smb/c800m/c800m-support.html>



2. システム構成

ユーザーの作成、変更、削除は、CCP Express より行うことができます。

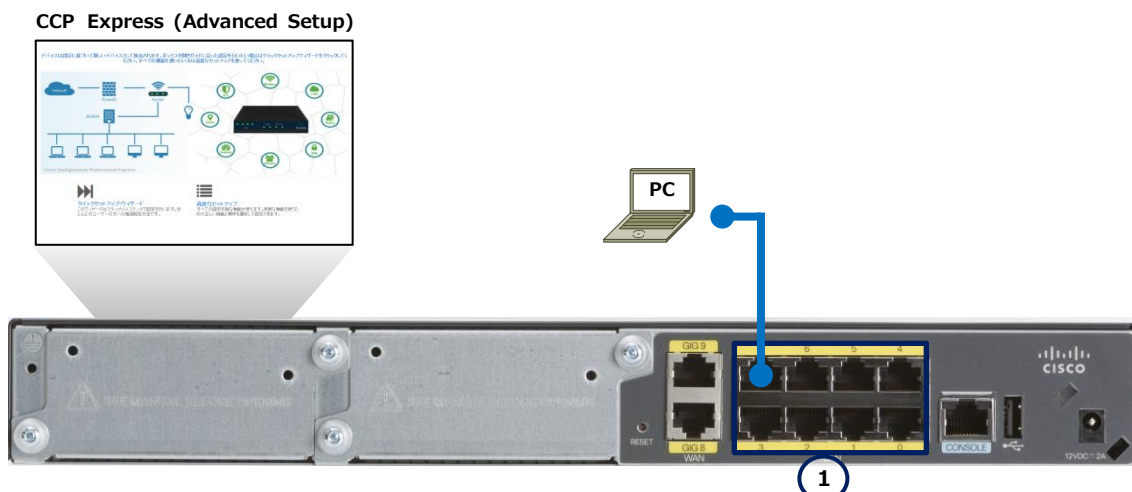


図 2 ユーザーを管理する構成（C841M-8X-JAIS/K9 の場合）

本書では、CCP Express への接続やログインの手順を省略しています。これらの手順については、クイックスタートガイドをご参照ください。

- Cisco Start Router 設定マニュアル クイックスタートガイド Cisco 841M J:
http://www.networld.co.jp/download_file/4574/7266/

2.1 使用した機材

本書で使用した機材は、以下のとおりです。

表 2 本書で使用した機材

機材	製品型番または名称	備考
Cisco 841M J シリーズ	C841M-4X-JAIS/K9 15.5(3)M	
デバイス管理ツール	CCP Express 3.1.2	
PC	Windows8.1 Pro x64	Web ブラウザー:Internet Explorer 11



3. 設定手順

Cisco 841M J シリーズにおける、ユーザーの作成、変更、削除の手順を説明します。

3.1 ユーザーの作成

Cisco 841M J シリーズでユーザーを新規作成します。

(1) ユーザーを新規作成します。Web ブラウザーを使用して CCP Express にログインします。「アイデンティティ」ボタンをクリックします。「アイデンティティ」ページが開きます。ホーム画面が表示されていない場合は、「ホーム」ボタンをクリックするか、またはショートカットメニューから「アイデンティティ」ボタンをクリックしてください。



図 3 CCP Express ホーム画面(アイデンティティ)



図 4 CCP Express のショートカット (ホームとアイデンティティ)



(2) 「ユーザ」をクリックし、「ユーザ管理」ページが開きます。ユーザーを作成します。「追加」ボタンをクリックします。なお、「ユーザ管理」ページに本ページに表示されているユーザーは既に登録されているユーザーです。



図 5 ユーザーを作成する

(3) ポップアップウィンドウに必要な情報を入力します。入力が完了したら、「はい」ボタンをクリックします。

表 3 ユーザー作成時に指定するパラメータ

#	パラメータ	説明
①	ユーザ名	(必須) ユーザーの名前を指定します。
②	パスワード	(必須) パスワードを設定します。1～25 文字の英数字（大文字および小文字）で設定してください。
③	パスワードを確認	(必須) 「パスワード」で入力した同じ値を入力します
④	グループを選択	グループを作成している場合は、選択します。
⑤	特権レベル	0～15 より選択します。なお、15 は特権モード、1 はユーザーモードを示します。 なお、各特権レベルで実行できる操作は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 0: disable、enable、exit、help、logout のコマンドのみ実行可能 1: ユーザーモードのデフォルトレベル。ユーザー-EXEC のコマンドのみ実行可能



		<ul style="list-style-type: none"> 15:イネーブルモードの特権レベル。イネーブル EXEC のコマンドのみ実行可能。 <p>なお、特権レベル 2-14 はコマンドの特権レベルを変更した際に使用します。例えば、特権レベル 15 に属するコマンドのレベルを下げ、特権レベル 10 以下のユーザーが使用できるように設定したり、特権レベル 1 のコマンドを特権レベル 5 以上のユーザーに割り当てたり、コマンドごとに特権レベルを付与することができます。</p>
⑥	ハッシュアルゴリズム MD5 を使用してパスワードを暗号化する	パスワードを MD5 でハッシュ処理し、暗号化して保存するかどうかを指定します。

ユーザの追加

ユーザ名 *

1

ユーザ名

パスワード *

2

パスワード

パスワードを確認 *

3

パスワードを確認

グループを選択

4

グループが選択されていません

特権レベル

5

0

ハッシュアルゴリズム MD5 を使用してパスワードを暗号化する。

6

☒

はい

キャンセル

図 6 作成するユーザーの情報を入力する



3.2 ユーザー情報の変更

CCP Express を使用して、ユーザー情報を変更します。変更可能な情報は、ユーザーの特権レベルとパスワードです。ユーザー名は変更することができませんので、ご注意ください。なお、変更方法は変更したいユーザー名と同じユーザーを作成し、変更を上書きする方法となります。

(1) ホーム画面の「アイデンティティ」より「ユーザ管理」ページを開きます。該当するページの開き方は、「3.1 ユーザーの作成」の(1)を参照してください。「追加」ボタンをクリックします。



図 7 ユーザー情報を変更する

(2) 変更したいユーザーを「ユーザ名」に入力します。「3.1 ユーザーの作成」の(3)を参照しながら変更するパラメータを入力します。入力が完了したら、「はい」ボタンをクリックしてください。なお、本書ではユーザー「Test1」のユーザー情報を変更します。以下のとおりパラメータを入力しています。

- ユーザ名: Test1(変更なし)
- パスワード: Test1 のパスワードを入力します(変更なし)
- パスワードを確認: 「パスワード」で入力したパスワードを入力します(変更なし)
- グループを選択: グループ未設定
- 特権レベル: 15(変更前は 1)
- ハッシュアルゴリズム MD5 を利用してパスワードを暗号化する: 選択(変更なし)



ユーザの追加

ユーザ名 *

パスワード *

パスワードを確認 *

グループを選択

特権レベル

ハッシュアルゴリズム MD5 を使用してパスワードを暗号化する。

1 ユーザ名

2 パスワード

3 パスワードを確認

4 グループが選択されていません

5 0

6 ☒

はい

キャンセル

図 8 ユーザー情報を変更する

(3) 該当するユーザーの情報が書き換わります。本書では、特権レベルが 1 から 15 に変更されていることが確認できます。

認証

グループ

ユーザ

ユーザ管理

ユーザの検索

追加

削除

	ユーザー名	パスワード	特権レベル	パーサービュー	グループ	アクション
<input type="checkbox"/>	network	*****	15	NO	グループ無し	会
<input type="checkbox"/>	test1	*****	15	NO	グループ無し	会

図 9 Test1 ユーザー変更後の「ユーザ管理」ページ



3.3 ユーザーの削除

ユーザーを削除する方法を説明します。

(1) ホーム画面の「アイデンティティ」より「ユーザ管理」ページを開きます。該当するページの開き方は、「3.1 ユーザーの作成」を参照してください。

(2) 削除を希望するユーザーを選択します。「削除」ボタンまたはアクションの「ごみ箱」のアイコンをクリックします。



図 10 ユーザーを削除する

(3) ユーザーが削除されます。

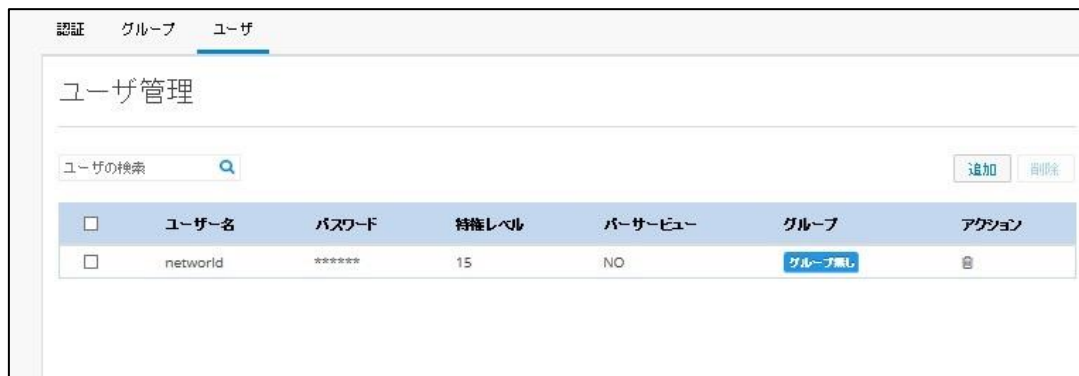


図 11 ユーザー削除後の「ユーザ管理」ページ

お問い合わせ

Q 製品のご購入に関するお問い合わせ

<https://info-networld.smartseminar.jp/public/application/add/152>

Q ご購入後の製品導入に関するお問い合わせ

弊社担当営業にご連絡ください。

Q 製品の保守に関するお問い合わせ

保守開始案内に記載されている連絡先にご連絡ください。

本書に記載されているロゴ、会社名、製品名、サービス名は、一般に各社の登録商標または商標です。
本書では、®、™、©マークを省略しています。

www.networld.co.jp

株式会社ネットワーク

